

**平成 21 年度当初予算 重点的な取組別概要**  
**< 重点事業 >**

新規 くらし 12 新型インフルエンザに対する緊急的な取組 ( 担当部局 : 健康福祉部 )

**< 重点事業の目標 >**

県民一人ひとりが、新型インフルエンザに関する正しい知識を持って予防などに取り組めるよう、情報の提供など積極的に啓発を行います。

発生時には甚大な健康被害を引き起こすことが懸念され、国等と連携しながら、適切な医療行動を行うための体制を整備するとともに、抗インフルエンザウイルス薬、PPE（個人防護具）など防疫資材の備蓄に取り組みます。

また、社会・経済への深刻な影響も危惧されていることから、市町、企業などと連携し、地域の社会機能に及ぶ影響への対応に取り組みます。

**< 構成事業（担当部） >**

- ( 1 ) 新型インフルエンザ啓発事業 ( 健康福祉部、教育委員会 )
- ( 2 ) フェーズ 3 対応鳥インフルエンザサーベイランス事業 ( 農水商工部 )
- ( 3 ) 新型インフルエンザ行政機能確保事業 ( 防災危機管理部、病院事業庁、警察本部 )
- ( 4 ) 新型インフルエンザ医療体制整備事業 ( 健康福祉部、病院事業庁 )

**< 重点事業の事業費 >**

( 単位 : 千円 )

		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
策定時の見込額	1	-	-	497,229	423,833
予算額等	2	-	-	( 497,229 ) 8,419	

1 現時点での所要見込額を記述

2 H21年度は当初予算額。H21年度の上段括弧書きはH20年度2月補正分とH21年度当初分の合算額。

**< 重点事業の数値目標 >** 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

数値目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
医療従事者 P P E ( 個人防護具 ) 備蓄数	目標値	-	-	-	28,800 セット	57,600 セット
	実績値	-	-	0 セット		

医療従事者 ( 発熱外来含む ) 用の P P E の備蓄数 ( セット )

**< 構成事業の目標 >** 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 講演会、研修会等の開催数	目標値	-	-	-	20 回	20 回
	実績値	-	-	( 現状 ) 23 回		
(2) 家きんのウイルス検査	目標値				700 検体	未定
	実績値			( 現状 ) 0		

(3)訓練の実施数	目標値	-	-	-	5回	5回
	実績値	-	-	(現状) 3回		
(4)抗インフルエンザ薬(タミフル)備蓄数	目標値	-	-	-	249,500人分	347,000人分
	実績値	-	-	(現状) 152,000人分		

<進捗状況(現状と課題)>

- ・ 新型インフルエンザの世界的な大流行(パンデミック)が懸念される中、流行時には死亡者が国内で最大64万人、県内においても最大9,400人にのぼる甚大な健康被害が想定されており、被害を最小限に抑えるためには、不要不急の外出を控えるなど県民一人ひとりの行動が重要であり、そのための情報の提供が不可欠となっています。
- ・ また、発生時には流行期間が約2か月間続き、GDP(国内総生産)損失は20兆円と想定されるなど、社会経済に大きな影響があり、社会・経済の破綻が危惧されています。
- ・ このため、発生時には健康被害を最小限度にするための医療対応とともに、社会機能を維持するための社会対応が必要であり、県として率先した取組が求められています。

<平成21年度取組方向>

新型インフルエンザの発生に備え、県民が正しい知識を得るために、リーフレットの作成、講演会や研修会の開催など、さまざまな手法により啓発を行います。また、鳥インフルエンザなど家さんのウイルス調査を行い、新型インフルエンザ発生の兆しを察知します。

行動計画を踏まえて、市町、医療機関、防災関係機関、ライフライン企業との連携のもと、社会機能に及ぶ影響への対応に取り組んでいきます。

医療面の対応を推進するため、抗インフルエンザウイルス薬やPPE(個人防護具)の備蓄、ウイルス検査が迅速かつ正確にできるよう検査機器等の整備充実などをはかるとともに、関係者との連携により地域の医療体制の整備に向けて取り組みます。さらに、図上訓練、実地訓練などを実施し、発生時の対応を強化します。

<主な事業>

(新)新型インフルエンザ対策事業【基本事業名:32501感染症危機管理体制の確保】

(事業(1)(4))

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

予算額:(20) - 千円 (21) - 千円

(464,753千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要: 抗インフルエンザウイルス薬や個人防護具(PPE)を備蓄するとともに、関係職員の実地訓練・研修を行います。また、リーフレットの作成や講演会などを開催し、啓発に努めます。(発熱外来用個人防護具の備蓄:28,800セット、6医療機関分)

(新)教育委員会新型インフルエンザ対策事業

【基本事業名:12206子どもたちの安全の確保と健康の増進】(事業(1))

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

( 3 , 6 7 0千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 新型インフルエンザの予防と感染拡大防止のため、公立小中学校及び県立学校のすべての児童生徒・保護者への啓発や教職員研修を行います。(リーフレットの配布：22万人分)

(新) フェーズ3対応鳥インフルエンザサーベイランス事業

【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】(事業(2))

(第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 2家畜保健衛生費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

( 2 , 6 3 7千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 家きんのウイルス検査をすることにより新型インフルエンザの発生の兆しをいち早くとらえます。(検査数：700検体)

(新) 新型インフルエンザ対策体制整備事業【基本事業名：32501 感染症危機管理体制の確保】  
(事業(3))

(第2款 総務費 第2項 企画費 5危機管理費)

予算額：(20) - 千円 (21) - 千円

( 8 , 8 0 0千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 三重県における人的被害、具体的な社会的機能への影響などの調査を行い、各部署が迅速かつ適切な対応が取れるよう、具体的な社会的影響シナリオに基づく図上訓練を実施します。

(新) 新型インフルエンザ対策警察活動推進事業

【基本事業名：32205 県民の安全を守る活動基盤の整備】(事業(3))

(第9款 警察費 第1項 警察管理費 3装備費)

予算額：(20) - 千円 (21) 454千円

( 9 , 4 0 4千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 警察の治安維持機能を確保し、新型インフルエンザ対策に係る警察活動を推進するため、現場警察官等が着用する個人防護具(PPE)及び職員の感染予防マスクを備蓄します。(個人防護具：3,499セット、職員用マスク：63,500枚)

(新) 県立病院新型インフルエンザ対策事業【基本事業名：34102 県立病院の医療サービス提供】  
(事業(3)(4))

(第1款 病院事業費用 第1項 医業費用 2材料費 他)

予算額：(20) - 千円 (21) 7,965千円

事業概要： 県立病院の医療機能を維持するため、病院職員が使用するマスク等の備蓄、防護服等の整備を行います。(病院機能維持にかかる防疫資材の備蓄：防護服200枚、PPE700セット等)

